

時の動き

尾澤孝司さんの早期釈放を！

尾澤孝司さんを支える会
尾澤 邦子



でつち上げで
長期拘留が許されるのか！

韓国サンケン労組を支援する会の尾澤孝司さんが、5月10日に不当逮捕されてからすでに半年になります。サンケン電気に対し、韓国の慶南地方労働委員会の勧告に従い、韓国サンケン労組と話し合いを行うよう申し入れるため、サンケン電気の門前に立ちました。しかし警備員を「押した」と「暴行」をでつち上げられ、5月31日に「暴行」と「威力業務妨害」で起訴され、新座警察署に5カ月、その後10月11日にさいたま拘置支所に移監さ

れ、勾留されています。そんなことで半年も人の自由を奪い、拘束することが許されるのでしょうか。人権蹂躪です。

韓国サンケン闘争とは

埼玉県新座市にあるサンケン電気は、1973年韓国の馬山自由貿易地域に100%出資して韓国サンケンを設立し、電源やLED照明などを生産・販売してきました。安い労働力と、外資企業の特権としての税制優遇措置など受け、利益を上げてきました。しかし、インドネシアへの移転策動、事業部の

廃止、リストラなどで、一時期約600名いた従業員は、2016年には34名に減らされていました。

2016年、生産部門廃止・労働組合員全員解雇というサンケン電気からの一方的な通告に対し、労組は韓国で、また日本に遠征して解雇撤回の闘いを行いました。

日本での229日間の闘いは、労働組合や「韓国サンケン労組を支援する会」や多くの市民たちの支援・協力に支えられました。

そして解雇を撤回させ、職場復帰を果たしました。



サンケン電気前での「月曜日」抗議行動

サンケン電気は

韓国サンケン労組と話し合え

2020年7月9日、コロナ禍で韓国から日本に來られない状況下、サンケン電気は、韓国サンケンの廃業を、

自社のホームページで発表しました。

サンケン電気は、韓国の財閥と結んで韓国に別会社を作り、韓国サンケン労組を会社「ことつぶしてしまおう」というものでした。労組は会社前にテントを張って籠城し、廃業の撤回を訴えました。日本では労組の要請を受け、地元では「韓国サンケン労組と連帯する埼玉市民の会」が結成され、また「韓国サンケン労組を支援する会」が9月3日に再結成されました。そして毎週木曜日、サンケン電気本社に対する要請行動と、志木駅頭での情宣活動、池袋の東京営業所への要請行動が取り組まれました。12月からは地元の「市民の会」が隔週で月曜行動を開始し、韓国サンケンの廃業撤回、労組との話し合いを求めました。

「暴行」でつち上げ糾弾、

尾澤さんを釈放しろ！

10月2日、葛飾地域で共に憲法集会など行っている市民グループの仲間たちで立ち上げた「尾澤孝司さんを支援する会」が、新座警察署に早期釈放の要請文をもって申し入れに行きました。何故5カ月もの長期にわたって勾留しているのか、拘留所に移監されないのは何故かなど聞きましたが、まともに答えられませんでした。「検察庁や裁判所の指示」ということでした。10月11日、尾澤さんは浦和にあるさいたま拘留支所に移監されました。高血圧と糖尿病の持病があり、健康状態も心配です。

「韓国サンケン労組を支援する会」と「尾澤孝司さんを支える会」で早期釈放を求める署名運動をやっています。またチェンジオルグでネット署名も始めました。ぜひご協力いただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

(おざわ くにこ)